

「保育支援システム」の導入 ～「保育士の働きやすさ」と「保護者の利便性」を向上～

スマホアプリを使用して、園と保護者間の連絡や、園児の登降園管理などができる保育支援システムを市立保育所等に導入する。本年度は1園（モデル園）で運用し、来年度以降、他の園についても段階的に導入を検討する。

1 目的

本市は、平成30年度から保育士等の「働きがい」「働きやすさ」を高める保育士等確保推進事業に取り組んでいる。保育業務でのICTの活用により、保育士等の勤務環境の改善につなげるとともに、保護者の利便性の向上を図る。

2 導入する施設（モデル園）

市立八条認定こども園

《参考》

平成31年4月の園児数等

【園児】	181人
【職員】	37人

3 導入するシステム

(1) 名称

「コドモン」  Total management system for the nursery

(2) 運営会社

株式会社コドモン（東京都港区三田3丁目1-4 Net.1 三田ビル4F）

(3) システム化する機能（運用開始時）

ア 園児台帳

紙で管理していた園児情報〔氏名、クラス、生年月日、健康情報（かかりつけ医師、アレルギー）、健診履歴、家族情報（緊急連絡先、メールアドレス）など〕を電子化する。園児情報を一元管理することにより、園内での情報共有が容易に行える。

イ 登降園管理

保護者はICカード（またはタッチパネル）を使用して、子どもの登園、降園の打刻を行う。登降園時刻の電子化により、延長保育の料金計算が自動化される他、保護者もスマホアプリを使って登降園の確認ができる。



ICカードによる打刻（イメージ）

ウ 遅刻・欠席・延長申請

電話連絡が基本であった欠席や遅刻等の連絡を、スマホアプリから申請する。時間を気にせずに連絡ができるので、朝の慌ただしい時間帯の保護者負担が少なくなる。また、保育士はタブレットを用いて遅刻、欠席情報をリアルタイムに確認できる。



欠席・延長申請（イメージ）

エ 連絡帳

園児の様子などを伝える連絡帳を電子化する。保護者が登園前に送信することで、園では事前に園児の様子を把握でき、登園時の預かりがスムーズになる。

《使用例》

- (ア) 保護者はスマホアプリを使用して、家庭での様子を報告する。選択形式で睡眠時間、食事、排便、体調などを入力する他、特に気にかけてほしいことなども記述する。
- (イ) 保育士は、園児が登園する前に園児の様子を確認し、必要に応じて対応を検討する。
- (ウ) 特別な対応等を行う場合は、預かり時にその内容を保護者に伝え確認する。
- (エ) 保育士は、園児の1日の状況（園内での過ごし方、食欲、排便など）をフィードバックする。状況により写真も活用する。
- (オ) 保護者は、お迎えまでに子どもの状況を確認できる。また、保育士は、園児のお迎え時に口頭で補足説明をする。



連絡帳（イメージ）

4 運用開始日

7月1日（月）

※ テスト運用は6月17日から（予定）

《参考》

全国の導入実績（５月末現在）

(1) 導入施設(園)

約 3,300 施設(園)

(2) 導入自治体

10 団体

（渋谷区、港区、府中市、藤枝市、富山市、小松市、田尻町、奄美市、金武町、
富岡市）

〔問合せ〕 豊岡市教育委員会事務局 こども育成課幼保政策室 TEL0796-29-0053